

登録コード	F3A56430	開講年度	2026				
授業科目	衣環境・住環境学（24F～）					担当教員	丸 弘樹 他
英文授業名						副担当	佐古井 智紀
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・3時限	対象学生	
講義室	繊維1 1 番講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 4 Fカリ・先進感性						
	【2023年度以降カリキュラム対象】繊維関連製品群の設計と計測・評価のプロセスを理解する能力					衣環境および住環境における快適性の評価手法を理解し、環境条件や構成要素との対応関係を踏まえて快適性を説明できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	前半は、暑さ・寒さ、動きやすさ、圧迫、肌触り、衛生といった人の感覚や生理応答に基づく快適性について学び、環境と衣服が人体に及ぼす影響を整理する。 後半は、熱移動現象と温熱快適性の評価手法を理解するとともに、ヒト・衣服・環境系の熱収支を演習により習得する。						
(5)授業計画	授業は100分×14回で行う。 第01回 ガイダンス、衣環境の快適性 第02回 寒暑環境に適した衣服 第03回 寝具による圧迫 第04回 圧迫を利用した衣服 第05回 肌触りの快適性 第06回 皮膚の衛生 第07回 目的に応じた衣服の機能と快適性 第08回 放射熱交換 第09回 蒸発熱交換 第10回 衣服を通じての伝熱 第11回 体感温度と温熱快適性の評価法1 第12回 体感温度と温熱快適性の評価法2 第13回 ヒト-衣服-環境系の伝熱計算演習1 第14回 ヒト-衣服-環境系の伝熱計算演習2						
(6)成績評価の方法	前半50％，後半50％の比率で評価する。 それぞれの内訳は以下の比率とする。 前半：授業内容について基本的理解度を確認する小テスト30％，期末テスト70％の比率で評価する。 後半：期末試験100％の比率で評価する。						
(7)成績評価の基準	秀：90点以上の成績で、授業の達成目標の水準から見て卓越している 優：80点-89点の成績で、授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良：70点-79点の成績で、授業の達成目標の水準よりやや上にある 可：60点-69点の成績で、授業の達成目標の水準にある 不可（D）：50点-59点の成績で、授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）：49点以下の成績で、授業の達成目標の水準にない						
(8)事前事後学習の内容	予習：下記の参考書または授業前に配布するテキストを読み、おおまかな授業内を把握する。 復習：授業当日分のスライドとノートを見直す。						
(9)履修上の注意	授業内容の理解度を確認するため、授業時間内に小テストを定期的に実施します。						
(10)質問、相談への対応	授業後に質問に対応します。 前半担当：丸 maruh@shinshu-u.ac.jp 後半担当：佐古井 t-sakoi@shinshu-u.ac.jp						
(11)学生へのメッセージ	人間 - 着衣 - 環境系の中で、衣服の快適性をどうとらえるか、を学習してもらいたい、と思います。						
(12)その他	なし						
【教科書】	なし						
【参考書】	日本衣料管理協会刊行委員会編．アパレル生理衛生論．日本衣料管理協会，2016 日本家政学会被服衛生部会編．アパレルと健康．井上書院，2012 中山昭雄編：温熱生理学、理工学舎 空気調和・衛生工学会：快適な温熱環境の仕組みと実践 井上芳光、近藤徳彦：体温 2 体温調節システムとその適応、有限会社NAP 田村照子：基礎被服衛生学、文化出版局						